

平成30年度

事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

目 次

事業の概要	(1)
Ⅰ. 公益事業	(1)
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール)…	(1)
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (くにたち郷土文化館)	(3)
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館)	(4)
4. 共通公益事業 (総務課)	(5)
Ⅱ. 収益事業等	(5)
1. 付帯サービス事業	(5)
2. その他の事業	(6)
Ⅲ. 管理 (法人管理事業)	(6)
1. 役員及び役員会等に関する事業	(6)
事業の内訳	(8)
1. 自主・共催事業	(8)
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	(8)
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	(1 2)
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	(1 6)
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	(2 0)
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	(2 0)
(6) 総合評価	(2 2)
2. 指定管理事業	(2 4)
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	(2 4)
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	(2 6)
(3) 市民総合体育館の利用状況	(2 8)
(4) 有料公園施設等の利用状況	(3 0)
3. 管 理	(3 2)
(1) 役員及び役員会等に関する事業	(3 2)

事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っております。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 「文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」の主旨が市の芸術文化創造環境に定着するよう、地域の芸術活動団体、組織、大学等との連携を推進します。市の文化芸術条例の理念に寄与するとともに、芸術文化事業を通じた「地域社会の絆の維持及び強化」や「共生社会の実現」など、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」と文化芸術条例の趣旨に沿った施設効用の最大化に努めてまいります。
- 考古資料の展示をはじめ、講演会等の充実を図り、くにたちを学ぶ機会を多角的に展開します。特に国立市に本田家の主屋及び薬医門が寄贈されたことから、本田家の書画や篆刻に焦点を当てた展示をします。また、「城山さとのいえ」と連携して、南部地域の自然、文化、農事等に関連した事業を、市民協働を主体にして実施します。
- 小学生対象の体験会を重点的に実施していきます。また、健康づくりの観点から、高齢者のスポーツ普及にも取り組んでまいります。

このような視点を持ちながら、平成30年度は以下のような事業を展開しました。

I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(定款第4条第1号)(くにたち市民芸術小ホール)

○館内利用者数 57,758人(目標数34,000人)

ア. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業9事業、芸術振興事業13事業、その他を8事業の、計30事業を実施しました。主催共催別では主催20事業、共催10事業となりました。

2018年2月から8月の外壁改修工事に伴い施設の利用制限を行ったため、事業実施状況及び事業収入に影響を受けました。

(ア) 芸術環境創造事業

「くにたちアートビエンナーレ2018 第2回全国公募野外彫刻展」に対する市民アンケート調査を行いました。また、アートビエンナーレ及びアート事業について、専門家を交えた懇談会の開催や「くにたちトークグラウンドーCross Chatー」により、ファシリテーターを交え、アーティストや一般市民、商業主などから意見聴取し、今後のアート事業の方向性を検討しました。

さらにホームページでのアーカイブ化により、いつでもだれでもビエンナーレの情報を共有・活用できるための整備を行いました。

市の文化芸術条例施行に伴い、地域の強みである大学や学校との連携を通して多角的な事業に取り組みました。

① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

「芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業」として、子育て家庭、高齢者、不登校児などだれもが芸術文化に親しめるアクセス機能の強化を図りました。一般財団法人地域創造の支援プログラムとして実施した「公共ホール現代ダンス活性化事業」では、中学校特別支援クラスや不登校生徒が通う適応指導教室、一橋大学での活動を行い参加者の新たな一面が自他ともに見出せる機会を創出し、地域や福祉、教育との連携の可能性を確信しました。また、多摩エリアでの文化創造拠点として多岐にわたる活動を行うたちかわ創造舎による乳幼児からおとなまで楽しめる演劇公演は3年目となり、乳幼

児や小学生、その保護者等への定着が観られました。

② 学校教育との連携事業

「Meet the Artists」では小学校4クラス、児童館1か所にアーティストを派遣し芸術の楽しみを直接体験してもらうだけでなく社会性を育てる機会として実施しました。くにたちデビューコンサートは、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業として、ルッカ市交流に関わるプッチーニ関連企画、現代音楽として電子音響や映像を駆使した新たな表現を披露しました。

東京都歴史文化財団（アーツカウンシル東京）との共催による「パフォーマンスキッズトーキョー」ではアーティストと小学生によるダンス作品の創作と発表が行われ参加小学生にも観客にも新たなダンスの一面を体験する機会となりました。

③ 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では初心者に向けた3講座（エッセイの書き方、植物画、水墨画）を通し、講師・参加者双方が学び、交流する場の創出を行いました。

（イ）芸術振興事業

市の文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しめるよう鑑賞と交流の拡充を図りました。

① 芸術文化の創造事業

「inc. percussion days 2019 kunitachi」では世界的打楽器奏者・加藤訓子氏のもと多くの若手演奏家とともに4日間で10公演、8講座（ワークショップ）など行い芸術の担い手育成と幅広い打楽器の魅力に世に問う事業となりました。国内外で著名な太鼓芸能集団・鼓童による交流公演では3歳から入場可とし入場料も安価に設定し普及に努めました。多和田葉子複数の私Vo1.3「動物たちのバベル」は、氏の戯曲作品を市民18名により市民参加の意義ある作品として上演しました。ファミリー向け演劇「ともだちや」では、国立市ゆかりの降矢なな作画の絵本『ともだちや』を原作とする親子で楽しめる舞台公演を開催しました。また、広報や会場対応に立川子ども劇場の協力を得て実施しました。

② 芸術文化の継承事業

フレッシュ名曲コンサートは東京都歴史文化財団（東京文化会館）との共催で良質なクラシック音楽に気軽に触れていただく場として開催しました。ホール寄席では彦いち・菊之丞師匠の落語にまねき猫師匠の物まねを加え、地元で大衆芸能を楽しめる定席とすることができました。また、「すたじお寄席」ではレギュラーから3人目の真打が輩出されました。こども寄席も定番として小学生の積極的な参加がありました。芸小シネマでは「人生フルーツ」を「6.27劇場・音楽堂の日」にちなみ無料上映し、高齢者の来場が多いことから市の高齢者支援課と連携し健康相談コーナーの設置等を行いました。

③ 創客、利用拡大事業

ランチタイムコンサート、クリスマスコンサートは100回を迎え誰でも楽しめるコンサートとして定着しました。出演希望者が多く、各回2団体で実施する回を増やし、多くの出演者が参加できる機会となっています。

（ウ）その他

① 自主事業、連携事業企画調査事業

公文協の採択を受けて支援員が派遣され、施設改修計画や舞台機構・システムおよびホール運営全般について市職員も含めた研修を受講しました。また公文協、地域創造等の研修を活かし各職員の課題に応じてアートマネジメント研修等に参加しました。予約・収納システムの入替え・新規導入に伴い受付職員の研修を行いました。また長年

の弱みである広報の強化のため、SNS（ツイッター）導入とデジタルサイネージのコンテンツ充実を図りました。

② 実行委員会参画事業

定番となった「第43回くにたち音楽祭」「第25回吹奏楽フェスティバル」、「ファミリーフェスティバル」、くにたちギャラリーネットワーク連携の「美術講演会」、「わくわく子どもフェスタ」を開催しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

平成30年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で12.6%減の1,122件、利用料収入額は5.1%（771,390円）増の15,811,750円となりました。利用件数減少の主な原因は、外壁改修工事の騒音による貸し出し制限（平成30年1月～8月31日）によるものです。また、利用料収入額の増の要因は全日または複数コマ利用の増によるものです。

施設の老朽化に伴う修繕費は年々増加傾向にあります。指定管理者が自主的に対応する小額修繕には都度対応を行っていますが不測の事態を予測する体制も求められています。設備・機構・構造等大型改修を市とともに検討・計画を行うべき時期を迎えています。

2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）（くにたち郷土文化館）

○館内利用者数 22,066人（目標数25,000人）

郷土文化館では、自主事業38、共催事業4の合計42事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業4、企画展示事業4、資料収集・調査・研究事業9、講座事業11、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業11、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

ア. 郷土文化館事業

（ア）郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

① 展示事業

国立市に本田家の主屋及び薬医門が寄贈され、篆刻印が市の有形文化財に登録されたことを記念し、本田家の書画や篆刻に焦点を当て展示した「本田家と江戸の文人たち」白寿を迎えた郷土の芸術家である関頑亭氏の作品の中から国立市所蔵美術作品を中心とした展示「関頑亭-谷保から国立へ-」、紙を素材にして様々な創作品を展示する「紙の工芸展」、市内の公立・市立の3年生を対象とした民具案内と連動した冬季企画展「むかしのくらし展」の4事業を実施して延べ6,000人を超える観覧者がありました。

② 講座事業

それぞれの企画展に関連したワークショップ、見学会、講演会、鑑賞会等を開催し、展示テーマへの関心を高める機会としました。本年度は特に「くにたちの古文書を読む」と題した歴史講座を3回実施しました。

（イ）市民が参加及び体験する事業

① 郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公立私立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、平成30年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校、800人近くの児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしのくらし展」

の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会となりました。また、古民家を活用した伝統行事や体験事業も、古民家見学者や事業参加者の輪を広げ、郷土の魅力を再発見する役割を果たしました。

② 郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

平成30年度の郷土文化館の入館者数は22,066人で平成29年度と比較して2,123人、10.6%の増となりました。また、平成30年度の古民家の見学者数は7,033人で平成29年度と比較して5,413人、43.5%の減となりました。これは屋根の茅葺工事により5ヶ月間閉館したことに拠るものです。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、平成30年度は1,222,000円で平成29年度と比べ41,600円、3.3%の微減となっております。なお、市主催事業の減免措置についても、2.2%の微減となっております。事業収入等の状況は、平成30年度は926,500円で、平成29年度と比べ174,770円、15.7%の減となっております。

ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から平成29年度市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務を受託し、完成させました。

3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業（定款第4条第3号）

（くにたち市民総合体育館）

○館内利用者数 212,581人（目標数210,000人）

ア. スポーツ及びレクリエーション活動の振興事業、市民が参加及び体験する事業

総合体育館では、自主事業18件、共催事業4件、他組織の事業への協力が2件で合計24事業を実施しました。このうち新規は協力事業で「第一小学校体力テスト対策事業」でした。3・4年生を対象に実施し、両学年とも前年を上回る成績でした。また、3年女子以外は市の平均を上回りました。市内児童・生徒の体力テストの結果は、当館の評価指標の一つととらえていますが、初めてこの事業に取り組むことができました。

共催事業では国立市体育協会と5月5日こどもの日に第28回ファミリーフェスティバル（参加者・11,537人、0.1%減）を、10月8日体育の日に第28回くにたウォーキング（参加者・540人、12.5%減）を、1月20日にスポーツ講演会（参加者・228人、7.7%減）を開催しました。また、ダンスコレクション実行委員会と共催で3月31日に第29回ダンスコレクション（553人、17.4%増）を開催しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総合体育館利用者数（南市民プラザトレーニング室を含む）は個人が124,813人（3,702人、3.1%の増）、団体が85,165人（1,796人、2.2%の増）でした。体育室は個人が0.9%、団体が1.0%の微増でした。トレーニング室は1,261人、2.2%の増でした。伸び率は徐々に鈍化していますが、依然としてトレーニング室の利用者は増え続けています。室内プールは昨年度は個人・団体とも減少しましたが、今年度は個人が2,127人、7.2%、団体が2,635人、21.5%の増でした。グリーンパスの利用者数は33,551人で、平成29年度と比較して853人、2.5%の減でした。また、平成28年度から体育館利用を促進す

るために無料利用券を発行していますが、この利用者は4,987人でした。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は35,282,705円で、平成29年度と比べて520,445円、1.5%の増収でした。このうちグリーンパス利用者の収入が5,032,650円ありました。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、27,399時間、利用率は85.1%、3箇所の野球場は、6,868時間、利用率は60.7%、サッカー場は、1,669時間、利用率は、51.9%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、19,381,800円で、平成29年度と比較して50,250円、0.3%の増でした。なお、今年度から利用率算定の分母から雨のため利用できなかった時間帯を除外し、より正確を期することとしました。

ウ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業（定款第4条第5号）

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延べ661人となり、平成29年度と比べて利用者数は313人、32.1%の減になりました。実利用者が72人減少したのが大きな要因です。

4. 共通公益事業（総務課）

ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

市民団体等からの申請にもとづき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開し、市民的意義の大きい「第42回ふれあいスポーツのつどい」など10事業に助成しました。

・助成団体 10団体 ・助成金額 1,205,000円

イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。また、ITの専門家を配置し、ホームページの内容の充実を含め、大規模なりニューアルを実施しました。

ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は、各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

II. 収益事業等

1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託して、受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売しました。

・平成30年度の受託団体数 4団体 ・受託販売手数料 5,350円

イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・平成30年度の販売額 530,910円 ・販売数 13,466本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、ショーケースを設置し、健康飲料水等を販売しました。

・平成30年度の販売額 133,358円 ・平成30年度末棚卸額 5,377円

ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

・平成30年度の販売額 906,860円 ・平成30年度末棚卸額 1,331,071円

エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグル等の体育用品を販売しました。

・平成30年度の販売額 342,170円 ・平成30年度末棚卸額 125,430円

2. その他の事業

ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として、幼稚園、学校等の卒業式等への貸付、敬老大会・成人式等への貸付を行いました。

Ⅲ. 管理（法人管理事業）

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 3回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、平成30年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

事業の内訳

1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 24,159,587 円）

(ア) 芸術環境創造事業

①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	報					
	事	業	名	開催形態	実施日・期間	
1	くにたちアートビエンナーレ2018 野外彫刻展及び関連事業報告書の編集・出版 8月彫刻に関するアンケート調査実施			主催	通年	
2	くにたちアートビエンナーレ2018 ホームページアーカイブ化事業			主催	前期	
3	公共ホールダンス活性化事業「東野祥子」&ワークショップ ①現代ダンスインリーチ ②現代ダンスアウトリーチ			共催	①6月29日 ②12月6日～12月8日	
○ △	4	くにたち芸小123&◎シアター(3回) ①「ハーメルンの笛吹き男」②「星の王子さま」 ③「おやゆび姫」			主催	①7月1日 ②9月8日 ③10月23日

②学校教育との連携事業

○ △	5	Meet the Artists (3回) ①国立第八小学校5年生(アートテラー・とに～) ②西児童館(どやどや楽団) ③国立第八小学校4年生(太鼓芸能集団 鼓童)			主催	①9月14日 ②9月19日 ③10月11日
△	6	くにたちデビューコンサート ①プッチーニとヴェルディ ―オペラへの誘い― ②今ここに生まれる「表現」			主催	①12月25日 ②2月17日
○	7	パフォーマンスキッズ・トーキョー ①ワークショップ9日間 ②公演「Come on de DANCE!!」			共催	①1月20日～ 2月9日(9日間) ②2月10日

③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

△	8	市民一芸塾 ①秋の一芸塾「わたしらしく、自由に」文章教室 ②冬の一芸塾「初めての植物画-お正月の花を描こう-」 ③春の一芸塾「古典模写で学ぶ水墨画講座」			主催	①10/2～10/30 ②11/16～12/21 ③2/27～3/27
△	9	くにたちトークグラウンド 「Cross Chat」			主催	9月7, 8, 12日

(イ) 芸術振興事業

①芸術文化の創造事業

○	10	inc. percussion day 2019			共催	2月21日～2月24日
○	11	鼓童 交流公演2018			共催	10月14日
△	12	多和田葉子 複数の私vol.03 演劇公演「動物たちのバベル」			主催	11月9日
○ ● △	13	劇団うりんこ「ともだちや」			主催	11月11日

○ こどもおすすめ事業

☆ 協賛事業

△ 文化庁助成申請事業

● 新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
事業内容及び説明		
アートビエンナーレ事業第2回全国公募野外彫刻展を中心とした、記録集の編集と発行。次回の検討及びアンケート調査の実施をしました。	—	262
野外彫刻展などの平成29年度情報をアーカイブ化するホームページデザイン編集事業。ホームページアーカイブ化事業としては実施せず。経常経費で対応しました。	—	—
コンテンポラリーダンサーの東野祥子を迎え、地域創造の支援プログラムとして、地域でのワークショップや、ホールでの公演や公募型ワークショップを開催しました。	3,000	86
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパトリーを3回上演しました。	200	345

市内の小中学校などに、パフォーマンス、文芸、落語、ダンスなどから選択して芸術家を派遣するアウトリーチ事業。本物の芸術にじかに触れることで、新鮮な驚きや感動、楽しさを体験する機会として開催しました。	0	202
国立音楽大学出身で、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業。ルッカ市交流に関わるプッチーニ関連企画、現代音楽として電子音響や映像を駆使した新たな表現を披露しました。	1,000	324
特定非営利活動法人 芸術家と子どもたちとの共催事業。プロの現代アーティストの指導で子どもたちがワークショップを重ね、舞台作品を作り上げました。	0	133

市民講師による講座。美術・工芸・パフォーマンスなどを通して、講師・参加者双方が学び、交流する場の創出を図り、秋、冬、春に実施しました。	2,000	120
アートビエンナーレおよび今後のアート事業について、ファシリテーターを交えアーティストや一般市民、商業主、行政機関などの視点から意見を募りました。まちにとっての方向性を探るとともに、アートへの関心を引き出すことを目的としました。	0	23

世界的な活躍を行う打楽器奏者・加藤訓子氏主宰による、若手演奏家育成プログラム。4日間の期間中、「オリジナリティの探求」をテーマに、有料コンサート8、無料コンサート3、ワークショップ3、展示1、演奏家向け勉強会4、ゲストトーク1を実施しました。	0	840
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー・太鼓芸能集団鼓童による地域交流公演を開催しました。	500	256
市ゆかりの著名な作家・多和田葉子氏の幅広い芸術活動を紹介するシリーズの3回目。日本語で書かれた2本の戯曲のうちの1本を市民の参加出演により上演しました。	500	206
国立市ゆかりの降矢なな作画の絵本『ともだちや』を原作とする親子で楽しめる舞台公演を開催しました。	1,000	236

②芸術文化の継承事業

計画事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
14	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「副田真之介・篠原拓也 オーボエ・デュオリサイタル」	共催	11月4日
☆ 15	くにたち芸小ホール寄席 林家彦いち・古今亭菊之丞・江戸家まねき猫	主催	12月2日
○ 16	こども寄席（2回）	主催	7月23日 7月24日
△ 17	芸小シネマ 映画「人生フルーツ」	主催	6月27日
18	くにたち市民オーケストラ 2019年ニューイヤークンサート	主催	1月13日
19	スタジオコンサート vol. 89～91 （計3回） ①Vol. 89 「FLAMENCO LIVE AMANECE ～夜明け～」 ②Vol. 90 「いとこまち～秋のコンサート～」 ③Vol. 91 「魅惑のピアノ・ユーフォニアムの世界」	主催	①5月27日 ②10月21日 ③11月17日
20	くにたちすたじお寄席 37回～39回 （計3回）	主催	①6月3日 ②9月2日 ③3月3日

③創客、利用拡大事業

○ 21	①ランチタイムコンサート ②クリスマスコンサート	主催	①10/17～3/20 (6回) ②12/19
22	ホールとグランドピアノのシェアプログラム	主催	4/3～1/31 計21日

(ウ) その他

①自主事業、連携事業企画調査

23	スタッフ・ディベロップメント事業	主催	通年
24	地域連携、公文協、地域創造等連携交流事業	主催	通年
25	その他事業（オアシス、助成、観まちパナー広告、消火栓 広告、くにたちポイント）	主催	通年

①実行委員会参画事業

○ 26	第43回 くにたち音楽祭	共催	6月10日
○ 27	第25回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月30日
○ 28	第28回ファミリーフェスティバル （ファンファーレ、春風コンサート、呈茶、オカリナコンサート）	共催	5月5日
29	くにたちギャラリーネットワーク連携事業 美術講演会 どこが凄いの？魅惑の若冲絵画 ～代表作「動植綵絵」全三十幅を読む～	共催	9月15日 9月23日
○ 30	第6回 わくわく子どもフェスタ	共催	2月11日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
市民および周辺市の方々に安価で良質なクラシック音楽を聴いてもらおうと同時に、若手音楽家に演奏の機会を持ってもらうことを目的としたコンサートを開催しました。	2,000	107
安定して人気がある落語事業の中でも著名な真打を迎えて開催する会。今回は、林家彦いち・古今亭菊之丞・江戸家まねき猫による寄席を開催しました。	3,000	158
落語の楽しさ、面白さを子どもたちに伝えるとともに、落語を覚え、披露する経験によって自信をつけたり新たな興味を拓けるきっかけづくりとして開催しました。	500	84
「6.27劇場の日」にちなみ、市民がより芸小ホールに親しんでいただくことを期して定評ある映画作品（前年度キネマ旬報文化映画第1位）「人生フルーツ」を無料で上映しました。	1,000	270
市民に広くオーケストラ演奏鑑賞の機会をつくるとともに、アマチュアオーケストラに活動場所を提供し技術の向上と芸術普及の一翼を担ってもらうことを願い開催しました。	1,000	256
国立市に縁のある音楽家らに公演の機会を提供するとともに、国立市又は近隣の方々に質の高いコンサートを安価な料金で提供することを目的としたコンサートを3回開催しました。	1,000	225
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を聴き、若手の成長を応援する定例落語会を開催しました。	1,500	236
近隣市民がだれでも気軽に音楽等に触れる機会を創出し、演奏機会経験が少ない市内在住・在勤・在学のアマチュア～プロの演奏家に出演してもらうことで、今後の活動の糧として開催しました。	0	701
ホールの空き時間を活かし、安価にホールでのグランドピアノ演奏体験ができる機会提供しました。	2,000	223
職員の接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加しました。	—	—
公文協会議、公文協支援員派遣事業による研修、中核的劇場などで行われる研修や交流事業に参加し、情報交換等を行いました。	—	—
助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行いました。	—	—
市内で活動する音楽活動団体による、合同発表公演。参加団体で実行委員会を組織し、団体相互の親睦、交流および団体の音楽水準の向上を図りました。	0	352
市内の学校およびそのOB、OGによる吹奏楽団が実行委員会を組織し、日ごろの成果を市民に発表するとともに、お互いに研鑽、交流を図りました。	0	600
子ども向けのイベントから音楽、お茶会などバラエティに富んでおり、その提供者も市内の様々な団体から構成されています。出店等もあり、ふだんは芸小にあまり足を運ばない人へのPRの機会ともなっています。	0	770
くにたちギャラリーネットは、当財団、たましん文化財団の負担金及び各ギャラリーの会費で運営しています。設立26年目で、市内18のギャラリーで組織している。事業として美術講演会を毎年実施しています。	0	150
こどもの時代により多くの文化・芸術にふれる環境をととのへ、子どもたちの豊かな成長と地域文化への愛着を促し関連団体が連携し、実行委員会として実施しました。	0	634

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 26,213,137 円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

①展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
1	くにたち郷土文化館常設展示	自主	通年
2	ハケと用水の魚類展示	自主	通年
3	ハケに生きる鳥類展示	自主	通年
4	エコロジー&アメニティ空間創出事業	自主	通年

・企画展示

5	春季企画展 ミニ美術展「関頑亭-谷保から国立へ」	自主	5月26日～6月24日
6	夏季共催企画展 「第22回 紙の工芸展」	共催	8月18日～9月9日
7	秋季企画展 「本田家と江戸の文人たち」	共催	10月27日～12月9日
8	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自主	1月14日～3月11日

②資料収集・調査・研究事業

9	企画展準備に伴う資料収集及び調査・研究事業	自主	通年
10	西野家資料整理	自主	通年
11	収蔵庫の民具資料整理	自主	通年
12	個人寄贈などの資料整理	自主	通年
13	図書等の資料整理	自主	通年
14	写真資料整理	自主	通年
15	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自主	通年
16	自然科学資料の収集・整理及び調査研究事業	自主	通年
17	調査・研究の書籍刊行事業	自主	通年

③講座事業（教育・普及事業）

18	歴史講座 くにとちの古文書を読む 「襖の下張り文書から-幕末の岡引と侠客・遊女-」	自主	9月9日
19	歴史講座 くにとちの古文書を読む 「本田寛庵の医療記録を読む」	自主	12月1日
20	歴史講座 くにとちの古文書を読む 「谷保の田んぼと多摩川の洪水」	自主	3月3日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 22,066
NPO国立市動物調査会の指導を得て、ハケ下の水路や府中用水の魚類を中心に展示しました。	—	—
ハケ周辺で見られる鳥類について、事故死した個体を剥製標本にし、館内に展示しました。	—	—
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

白寿(99歳)を迎えた関頑亭氏は、芸術を愛し、郷土の歴史を慈しむ、国立市を代表する文化人のひとり、市の所蔵の頑亭作品を中心に紹介するとともに、頑亭氏の文化活動や全国の頑亭作品もパネルで展示しました。	—	延 1,223
芸術性が高く評価されている折り紙やその他の様々な紙の工芸作品を通して、日本の伝統文化を再確認するとともに、モノを創造する喜び、面白さ、不思議さなどを実感して頂くために実行委員会を作り実施しました。	—	延 934
市の教育委員会との共催により、同委員会が平成23年度より行ってきた本田家資料に係る調査を踏まえ実施しました。特に、第10代当主・昂斎を中心とした本田家の「文人」としての側面を軸に紹介しました。	—	延 1,389
館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。民具案内で来館した小学生に展示解説を行いました。	—	延 2,563

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に関する資料の収集及び調査・研究を行いました。	—	—
西野家より寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、データ化を推進しました。	—	—
館に寄贈された資料の整理を行いました。	—	—
寄贈図書等の資料整理を継続し、中央図書館のシステム上で検索可能なデータベース化を行いました。	—	—
市役所広報担当撮影写真のデジタル化を推進し、春季企画展で公開すると同時に、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
館のテーマである「ハケ」に関連する植物や昆虫などの自然科学資料の収集、整理、調査、研究を行いました。	—	—
企画展示の図録、研究紀要など、調査・研究の成果を刊行しました。	—	—

佐伯家から寄贈された襖の下張文書から、江戸時代の治安や遊郭に関する古文書を学びました。	—	15
江戸時代末期、下谷保村の名主であり医者でもあった本田覚庵が残した日記から、その仕事の様子にふれました。	—	23
府中用水に関する一連の古文書の中から、多摩川の洪水をとりあげ、洪水が谷保地域の田んぼや村々へと与えた影響を学びました。	—	21

実施事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
21	自然講座 くにたちの自然と生きものの関わり 「田んぼや湿地が育む生きものたち」	自 主	9月22日
● 22	自然講座 くにたちの自然と生きものの関わり 「湧き水が育む生きものたち」	自 主	10月7日
● 23	自然講座 くにたちの自然と生きものの関わり 「ハケ下の湧き水を調べてあるこう」	自 主	2月16日
● 24	自然講座 くにたちの自然と生きものの関わり 「くにたちの湧き水と井戸」	自 主	2月17日
● 25	秋季企画展関連講演会 「谷保・本田家をめぐる江戸の文人ネットワーク」	自 主	11月3日
● 26	秋季企画展関連講演会 「多摩の在村文化と本田家」	自 主	11月23日
● 27	常設展関連講演会 「大形石棒と中期縄文社会」	自 主	3月21日
28	冬季企画展関連音楽鑑賞事業 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	自 主	2月23日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

○ 29	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	4月1日～10月31日
○ 30	伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り	自 主	4月20日～5月6日
○ 31	伝統行事 七夕飾り	自 主	6月23日～7月8日
32	わら細工教室／わらぞうり作り	自 主	7月22日
○ 33	古民家事業 十五夜だんご作り	自 主	9月8日
34	千支の折り紙教室	自 主	12月8日
○ 35	わら細工教室／しめ縄作り	自 主	12月9日
36	民具案内 国立市内公立、私立小学校3年生対象（全11校）	自 主	1月18日～3月7日
○ 37	伝統行事 節分の豆まき	自 主	2月3日
○ 38	伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月12日～3月11日
○ 39	むかしのくらし展関連事業 くにたちカルタ大会	共 催	2月24日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 40	くにたち自然クラブ（全7回）	共 催	6月24日～12月16日
○ 41	天体観測 冬の星空ウォッチング（全3回）	自 主	12月12日～2月15日
○ 42	自然観察会 冬の生き物探し	自 主	2月11日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
田んぼや湿地にどのような生きものがいるのか、生きものにとって田んぼや湿地がどのような役割を果たしているか学びました。	300円	4
南部地域の恵まれた水環境について、矢川のおんだしを舞台に、様々な生きものが生息し、周辺の環境とどのような関わりを持っているか学びました。	300円	13
実際に郷土文化館周辺の湧水や用水の水のPH値や水温などを計り、南部地域の湧き水の現況について観察しました。	300円	15
上記フィールドワークの成果を基に、南部地域の湧き水の性質及び課題に関して、何が読み取れるか学びました。	300円	16
本田家代々と市河米庵、菊池五山ら江戸の文人との交流を伝来した書や絵画をとおしてたどり、近世～近代文化史上における意義を学びました。	—	54
江戸後期の多摩の在村文化について、多摩地域に残る日記などの史料からその活動の様子や人々の交流について学びました。	—	48
常設展示室にて展示中の「緑川東遺跡出土 石棒4本」について、縄文時代中期の社会に合わせて学びました。	—	52
冬季企画展「むかしのくらし展」関連事業として、郷土文化館に収蔵されている蓄音機でSPレコードを鑑賞しました。	—	30

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。11月以降は、屋根葺替え工事のため閉館としました。	—	延	7,033
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形及び刀剣類を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延	1,473
伝統行事の一環として、郷土文化館及び古民家に笹竹を飾り、来館者、見学者が短冊に自由に願い事を書いて吊るせるようにしました。	—	延	876
むかしの暮らしを知る事業として、暮らしを記録する会の会員より提供された稲わらを使い、わらぞうりを作ることで谷保地域の伝統文化を体験しました。	600円		12
十五夜に秋の草花、収穫物、だんごと一緒に飾り、農作物の収穫に感謝する伝統行事「十五夜だんご」を行ないました。	300円		11
和紙で2019年の干支、亥を制作することにより、折り紙という日本の伝統文化を体験しました。	1,000円		22
むかしの暮らしを知る事業として、稲わらを使い、正月用のしめ縄飾り作ることで谷保地域の伝統文化を体験しました。	800円		12
社会科授業の一環として、くにたちの暮らしを記録する会の指導のもと、郷土文化館所蔵の民具の解説と体験を行いました。	—	延	787
今年度はさとのいえにおいて、豆を撒き邪気を払い、福を招くことで、新しい一年に災いが無いようにと節分行事を体験しました。	—		120
豪華な七段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—		1,921
むかしのくらし展関連事業として、国立市のボランティアセンターが製作したカルタを使い、遊びながら郷土を学ぶ機会としました。	—		16

小学生を対象とし、ハケや湧水、矢川、府中用水、多摩川の生き物や自然の観察を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延	174
郷土文化館武蔵野庭園において、国立天文台の講師からお話を聞きながら、大型天体望遠鏡で国立から見える宇宙を観察しました。	—	延	74
NPO法人国立市動物調査会の指導のもと、土の中のカブトムシや、朽木の中のクワガタムシの観察をし、自然の観察方法等を学びました。	—	延	18

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[市民総合体育館] (決算額 22,260,341 円)

ア. スポーツ及びレクリエーション活動の振興事業

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	太極拳24式・48式 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月 3日～ 5月22日 6月 5日～ 7月24日 9月 4日～10月23日 11月 6日～12月25日 1月8日～ 2月26日
2	初めての気功と健康太極拳 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月 3日～ 5月22日 6月 5日～ 7月24日 9月 4日～10月23日 11月 6日～12月25日 1月8日～ 2月26日
3	やさしいヨガ ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	5月 9日～ 6月27日 8月29日～10月17日 10月31日～12月19日 2月 6日～ 3月27日
4	水中リズムウォーキング ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月 4日～ 5月30日 9月 5日～10月31日 11月 7日～12月26日 2月 6日～ 3月27日
5	骨盤調整&エアロビクス ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月 7日～ 6月 2日 6月16日～ 8月 4日 10月20日～12月22日 1月12日～ 3月 2日
6	楽しいフラダンス ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自 主	5月17日～ 7月19日 9月 6日～11月15日 12月6日～ 2月21日
7	大人の初心者水泳教室 (8日間)	自 主	5月11日～ 6月 8日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自 主	4月3日～ 6月29日
9	レベルアップゴルフ① (12日間) レベルアップゴルフ② (6日間)	自 主	11月2日～ 2月 1日 2月12日～ 3月12日

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂、制定した簡化太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	456
	5,000	427
	5,000	397
	5,000	408
	5,000	400
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取入れ足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	486
	5,000	447
	5,000	426
	5,000	390
	5,000	465
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	713
	5,000	710
	5,000	663
	5,000	700
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	430
	5,000	409
	5,000	381
	5,000	378
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。	5,000	241
	5,000	217
	5,000	265
	5,000	257
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	115
	5,000	111
	5,000	112
夜間の事業です。大人になっても泳げるようになりたいという方が参加されています。最も参加者の年齢層が幅広い事業です。	5,000	68

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	467
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	18,000 9,000	411 201

イ. 市民が参加及び体験する事業

①親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
10	親子スイミング教室 ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自主	4月16日～5月28日 9月3日～11月15日 2月18日～3月25日
11	親子体操教室 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間)	自主	5月11日～6月29日 9月21日～11月16日 1月11日～3月1日
12	親子野球教室 ① (1日) ② (1日)	自主	9月22日 3月16日

②小学生スポーツ体験事業

○	13	小中学生無料開放 (夏休み2回) (冬休み1回)	自主	7月25日 8月22日 1月7日
○	14	小学生かけっこ教室 ① (1日) ② (1日)	自主	4月14日 8月28日
○	15	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自主	5月12日～6月30日 10月6日～12月1日
○	16	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自主	8月6日～8日
○	17	小学生初心者水泳教室 ①二小 (5日間) ②三小 (5日間) ③四小 (10日間) ④六小 (5日間) ⑤七小 (5日間)	協力	8月13日～17日 8月20日～24日 7月26日～31日 8月20日～24日 8月6日～10日 8月13日～17日
○	18	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自主	8月1日～8月2日
○	19	サッカークリニック (1日間)	自主	1月20日
○	20	体力テスト対策 一小 (3・4年生)	協力	5月28日

③共催事業

○	☆	21	第28回ファミリーフェスティバル	共催	5月5日
☆	22	第28回くにたちウォーキング	共催	10月8日	
○	23	スポーツ講演会 講師：下村 一之氏 「腰痛症・膝痛：その成り立ちと対処法」	共催	1月20日	
☆	24	第29回ダンスコレクション (会場：市民芸術小ホール)	共催	3月31日	

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000	26組 282
	4,000	29組 293
	4,000	18組 150
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	5,000	32組 435
	5,000	20組 245
	5,000	29組 342
年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。	無 料	63組 126 31組 59

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスを行いました。	無 料	298 238 198
運動の基礎となる走力を身に着けるため開催しました。時期は運動会の前にしました。	無 料	53 22
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。	2,000	124 124
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	無 料	21
教室開催を希望する小学校を対象に、初心者水泳教室を開催しました。定員は設けず、希望者全員が受講しました。また、2学期に水泳の授業が無い小学校では、最終日に検定も行いました。	無 料	合計 1,450
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。	無 料	41
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るとともに親睦を図る事業を実施しました。	無 料	172
小学生を対象に全国で行われる体力テスト対策を行いました。テストは、屋内が5種目、屋外が3種目ですが、このうち屋内は4種目、屋外は2種目で行いました。	無 料	130

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。 共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)F S X、国立温泉 湯楽の里、カルフォルニアレーズン協会	無 料	10,944
今年はA：8.7km、S：13.7kmの2コースになりました。高齢者表彰や完歩賞を発行するなど、楽しく参加できるようにするとともに、今年から完走後に抽選くじをひいてもらいました。共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)F S X、国立温泉 湯楽の里、カルフォルニアレーズン協会、インフィニティ(株)	大人 500 子供 200	338
医学博士（スポーツドクター）による講演会です。スポーツや加齢により腰や膝を痛めることはよくありますが、傷めない体の動かし方や痛めた後の対処法等について話していただきました。 特に一度痛めてしまうと体を動かす（スポーツをする）ことから遠ざかりがちですが、傷めた個所をケアしながら体力をつけていく方法を学びました。	無 料	228
総合体育館と市民芸術小ホールの利用団体によるダンス活動の成果を発表するとともに、ダンスの普及を図りました。共催：第29回ダンスコレクション実行委員会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(有)白十字	指定・700 自由・500	278

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

〔総務課〕（決算額 1,150,000 円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	春うらら:国立・立川さくらウォーキング (国立市観光まちづくり協会)	4月1日
2	Allegory 創作シリーズ vol.1 (Allegory創作シリーズ 実行委員会)	4月20日～22日 5月26日～27日
3	第32回くにたち兼松講堂音楽の森コンサート 吉野直子の華麗なハープの世界 (ボランティアチーム・如水コンサート企画)	5月13日
4	第3回子どもによる子どものためのクラシックバレエの夕べ公演 (第3回子どもによる子どものためのクラシックバレエの夕べ実 行委員会)	9月16日
5	谷保天満宮獅子舞保存事業 (谷保天満宮獅子舞保存会)	9月22日・23日
6	第42回ふれあいスポーツのつどい (第42回ふれあいスポーツのつどい実行委員会)	10月21日
7	第15回くにたちふれあいコンサート (高齢者福祉を考える会)	11月15日
8	くにたち市民合唱団30周年記念演奏会	11月23日
9	第46回くにたち元旦マラソン大会 (国立市陸上競技協会)	1月1日
10	第42回塞の神どんど焼 (塞の神どんど焼き実行委員会)	1月14日

* (Allegory 創作シリーズ vol.1) は、平成29年度に支出済

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）

〔総務課〕（決算額 6,925,968 円）

	実施事業 通し番号	報	
		事業名（団体名）	実施月日
☆	1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
☆	2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数 等(人)
国立発と立川発の二つのコースを設定し、さくらを愛でながらウォーキングを実施しました。	100,000	1,448
市民、宇フォーラム美術館並びに4人のアーティストが実行委員会をつくり、ワークショップから公演の流れの中で、地域に根差した持続可能な創作の場づくりを実施しました。	55,000	76
世界のステージで活躍するハープ奏者の吉野直子氏による、バロックから現代曲までの多彩なプログラムを、安価な入場料で披露しました。	150,000	450
クラシックバレエの全幕物の抜粋及びコンテンポラリーなどのわかりやすい作品を公演して、出演する子どもにも、鑑賞する子どもにもクラシックバレエの素晴らしさに触れてもらいました。	60,000	380
国立市指定文化財「獅子舞」の保存と後継者の育成に寄与しました。	120,000	40
しょうがい者と健常者が一緒にスポーツを行い、お互いに理解と親睦を深めました。	200,000	1,197
高齢者を対象(中心)に、ピアノ、バイオリン等を演奏し、生の音楽を聴いてもらいました。また、昨年引き続き韓国の音楽大学教授も参加され、日韓親善友好の音楽会となりました。	120,000	400
芸術小ホールを中心に市民への合唱普及活動を30年継続しています。合唱の未経験の方も、年齢に関係なく、誰でも体験してもらう場を提供し、市民に対する合唱音楽普及に貢献しました。	200,000	360
10km、5km、3kmに分け、幅広い年齢層を対象に元旦マラソン大会を実施しました。	50,000	83
国立市に生まれ育った子どもたちに伝統文化を知らせ、郷土意識を養いました。	150,000	3,000

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約42,500部、 8ページ2回、6ページ1回、4ページ3回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠(8センチ×6センチ) 広告収入6社29枠 (705,000円)	4,595,512	255,150
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を発信しました。 随時更新	2,330,456	—

(6) 総合評価

(芸術小ホール)

- ・定款第4条1号に係わる自主・共催事業については、概ね計画のとおり実施できました。
- ・「ビエンナーレ事業」については、平成29年度実施を受け報告書の編集・出版およびアンケート調査と分析を行い、次回実施に向けた準備としました。
- ・「芸術環境創造事業」では学校・大学ほか地域の団体との連携協力により実施することができました。これを契機に、地域の課題でもある「社会包摂」への取り組みに向けた体制づくりへとつながる可能性を感じました。
- ・「芸術振興事業」では、定番となった落語やフレッシュ名曲コンサート等の芸術文化の継承を推進するとともに、若手芸術家の支援や施設利用拡大につながる事業を展開し、市民に新たな興味を拓げる機会を提供しました。また創造性を追求した演劇事業の実施など、芸術の発展に寄与できるホールとしての役割を再確認することができました。
- ・集客、参加者数が計画に達していない事業が散見されます。対策の一つとして、長年の課題であった広報について、担当者を新たに配置しSNS（ツイッター）やデジタルサイネージ等の整備を図りました。また、事業担当職員数と事業数及び事業内容・スケール感とのアンバランスが生じているため、今後の改善が必要であると考えています。
- ・前年度から始まった外壁工事は8月に終了しましたが、施設や設備の老朽化は進んでおりその対応に今後も予断を許さぬ状況にあります。

(郷土文化館)

- ・自主・共催事業については、概ね計画のとおり実施できました。
- ・春季ミニ企画展「関頑亭-谷保から国立へ」は、特別展示室の3分の1のスペースのミニ展示でありましたが、たましん歴史美術館で行った「99歳の彫刻家・関頑亭展」と連動することで、新たな来館者を呼ぶことができました。アンケートにも記載されていましたが、国立市在住の芸術家の作品を間近で見ることができたとの好評の意見もあり、また、一方で作品数が少なかったとの意見もありました。
- ・夏季共催企画展「第22回 紙の工芸展」は、開催中に折り紙アート、ペーパークラフト、寄紙細工等々、子ども体験教室、親子体験教室を含め11回のワークショップを実施し、大変好評でありました。特に、子ども体験教室参加者の作成した作品を展示したことにより、同展への参加意識を持ってもらえたことは意義あることでありました。
- ・秋季企画展「本田家と江戸の文人たち」は、以前に2回本田家に関して展示を行ないましたが、今回は初めて本田家での文人の側面にスポットをあてて紹介する試みでありました。従って、本田家資料が有する多面的な側面について、より多くの方々に感じ取って頂きました。但し、展示資料の調査と同時に、図録作成・展示作業等を平行して行なわなければならない、時間的制約から、資料調査及び展示内容の吟味に十分に時間を取れなかったことがありました。本展示では本田家資料の一端を紹介できたに過ぎず、多摩地域において本田家がどのように文人文化と関係し、またいかに文化的な社会の形成に関わっていたか、その痕跡の解明は今後の課題として残されています。
- ・古民家の屋根の萱葺き替え工事を行ないましたが、利活用につきましては、引き続き観

光まちづくり協会、及び城山さとのいえと連携し、古民家の見学者数増に向け検討していきたいと考えています。

(総合体育館)

- ・重点事業の小学生対象の事業については、第一小学校で3年生・4年生を対象に体力テスト対策事業を実施しました。総合得点が1.4ポイント(3%)アップしましたので一定の成果があったものと評価しています。
- ・小学生の夏休み水泳教室は5校で開催しましたが、今年から「酷暑中止」が導入され、暑さのため大部分が中止になった学校もありました。今後、どのように開催していくか課題となりました。
- ・総合体育館の指定管理事業については、前年度に比べ利用者数が4.1%増、利用料収入が1.6%増でした。特に団体の利用者数が5.3%増えていますが、これは多摩障害者スポーツセンターの休館により、同センター利用者が当館を利用するようになったことが大きな要因と考えられます。
- ・前述の理由によりしょうがいしゃの利用が増えました。多少のトラブルがありましたが、結果的には相互理解が進み、お互いに違和感なくご利用いただいていると理解しています。
- ・有料公園施設の利用状況は変化がありません。なお、利用率はより正確を期すため、雨の日を分母から外して算出しました。その結果、テニスコート・野球場・サッカー場とも利用率が上昇しています。

(総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすいことを心掛けて編集しました。今後においても財団として、オアシスは非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう編集の創意工夫に努めていきます。財団としての財源確保のため、オアシスへの広告掲載依頼等について引き続き努力してまいります。また、ホームページについては、市民によりわかりやすいよう全面的にリニューアルを実施しました。

2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

(1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入

施設名	平成30年度			平成29年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	5,572,590	5,950,000	11,522,590	4,995,540	5,627,900	10,623,440	899,150
スタジオ	1,183,020	633,700	1,816,720	1,255,110	874,600	2,129,710	△ 312,990
音楽練習室	1,333,040	253,800	1,586,840	1,182,760	259,200	1,441,960	144,880
アトリエ	452,800	800	453,600	445,850	3,400	449,250	4,350
ギャラリー	432,000	0	432,000	396,000	0	396,000	36,000
合計	8,973,450	6,838,300	15,811,750	8,275,260	6,765,100	15,040,360	771,390

※平成29年度：1/10～3/31の間の平日と土曜日は総合体育館・芸術小ホール外壁工事のため利用制限あり。

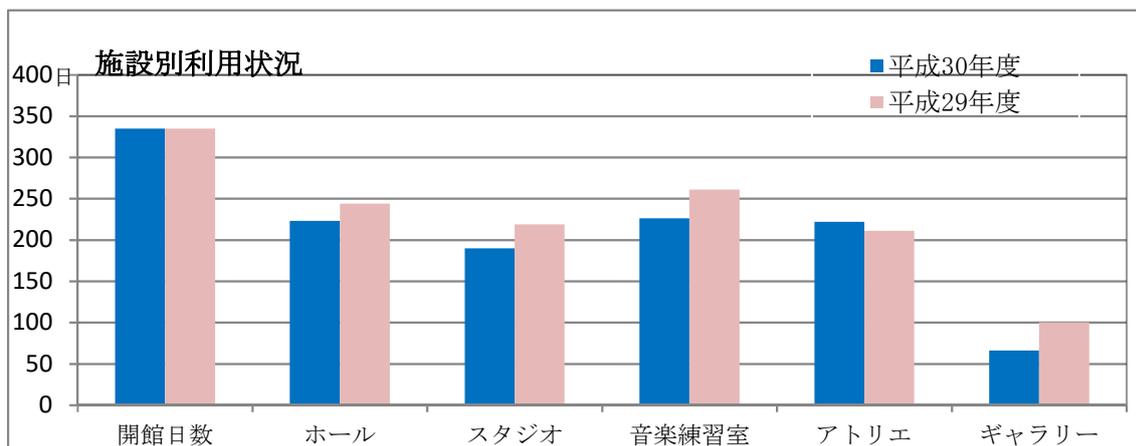
※平成30年度：4/1～8/31の間の平日と土曜日は総合体育館・芸術小ホール外壁工事のため利用制限あり。

平成30年度減免利用料額			平成29年度減免利用料額			差引増(-)減額		
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
7,481,100	6,055,550	13,536,650				-998,000	-323,100	-1,321,100

単位：円

(イ) 施設別利用状況

年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	利用者数	
					市内	市外
平成30年度 開館日数 335日	ホール	223 日	66.6 %	239 件	186 件	53 件
	スタジオ	190	56.7	242	168	74
	音楽練習室	226	67.5	288	195	93
	アトリエ	222	66.3	281	251	30
	ギャラリー	66	19.7	66	54	12
	エントランス	6	1.8	6	6	0
	計			1,122	860	263
平成29年度 開館日数 335日	ホール	244 日	72.8 %	262 件	201 件	61 件
	スタジオ	219	65.4	286	188	98
	音楽練習室	261	77.9	351	240	111
	アトリエ	211	63.0	276	244	32
	ギャラリー	100	29.9	100	84	16
	エントランス	9	2.7	9	9	0
	計			1,284	966	318



市民芸術小ホール利用状況

<平成30年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
H30年 4月	9	10	9	9	13	3	10	10	6	12	6	3	7	0
H30年 5月	6	8	10	5	10	4	11	8	8	12	6	5	1	0
H30年 6月	8	10	12	10	13	6	12	13	13	15	10	4	3	0
H30年 7月	5	10	13	14	14	12	9	9	9	13	5	5	1	0
H30年 8月	9	11	12	4	6	7	6	11	9	7	3	2	0	0
H30年 9月	21	22	18	13	13	11	12	16	13	19	10	8	2	0
H30年 10月	15	16	14	15	17	11	14	14	16	18	19	13	15	1
H30年 11月	16	22	16	12	15	7	14	15	14	16	9	8	15	1
H30年 12月	21	20	17	11	11	9	14	17	9	14	8	2	8	1
H31年 1月	17	17	16	11	15	7	13	14	7	14	9	4	0	1
H31年 2月	22	22	19	16	19	16	17	20	15	19	17	12	10	1
H31年 3月	22	25	20	15	19	11	12	14	12	17	18	8	4	1
合 計	171	193	176	135	165	104	144	161	131	176	120	74	66	6

※H30/4/1～8/31の間の平日と土曜日は総合体育館・芸術小ホール外壁工事のため利用制限あり。

<平成29年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
H29年 4月	16	18	16	10	14	5	16	15	10	13	9	6	16	1
H29年 5月	12	13	14	11	15	10	17	15	10	14	12	4	7	1
H29年 6月	16	18	13	10	17	15	15	15	15	16	11	6	4	1
H29年 7月	18	18	13	17	21	18	17	18	15	13	9	5	6	1
H29年 8月	15	19	18	13	18	14	17	17	12	9	6	3	1	1
H29年 9月	21	20	17	20	18	9	22	18	18	19	13	9	6	1
H29年 10月	19	19	16	14	17	10	23	18	17	18	12	8	24	1
H29年 11月	21	23	19	15	17	11	21	20	15	18	12	5	16	1
H29年 12月	17	19	18	12	19	10	16	18	10	12	4	2	2	1
H30年 1月	9	11	14	8	8	6	14	16	13	15	9	3	1	0
H30年 2月	8	11	15	5	8	12	13	11	9	16	10	5	8	0
H30年 3月	16	17	21	14	16	14	15	14	15	16	13	8	9	0
合 計	188	206	194	149	188	134	206	195	159	179	120	64	100	9

※H29/1/10～3/31の間の平日と土曜日（61日間）は外壁工事のための利用制限あり。

(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

(ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度 (平成)	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
30年度	1,038,500	183,500	1,222,000	1,390,300	18,000	1,408,300
29年度	1,088,600	175,000	1,263,600	1,791,400	20,000	1,811,400
増(－)減	-50,100	8,500	-41,600	-401,100	-2,000	-403,100

(イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年度 (平成)	利用時間帯別利用件数 (年間335日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	30年度	107	28	135	167	11	178	121	1	122	0	0	0	395	40	435
	29年度	135	30	165	176	17	193	126	0	126	0	0	0	437	47	484
研修室 1	30年度	42	65	107	90	39	129	5	5	10	0	0	0	137	109	246
	29年度	34	63	97	72	37	109	0	8	8	0	0	0	106	108	214
研修室 2	30年度	167	38	205	191	26	217	0	5	5	0	0	0	358	69	427
	29年度	152	35	187	160	23	183	2	5	7	0	0	0	314	63	377
特 別 展示室	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164	164	0	164	164
	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	219	219	0	219	219
合 計	30年度	316	131	447	448	76	524	126	11	137	0	164	164	890	382	1,272
	29年度	321	128	449	408	77	485	128	13	141	0	219	219	857	437	1,294

(ウ) 付属設備利用状況

単位：件

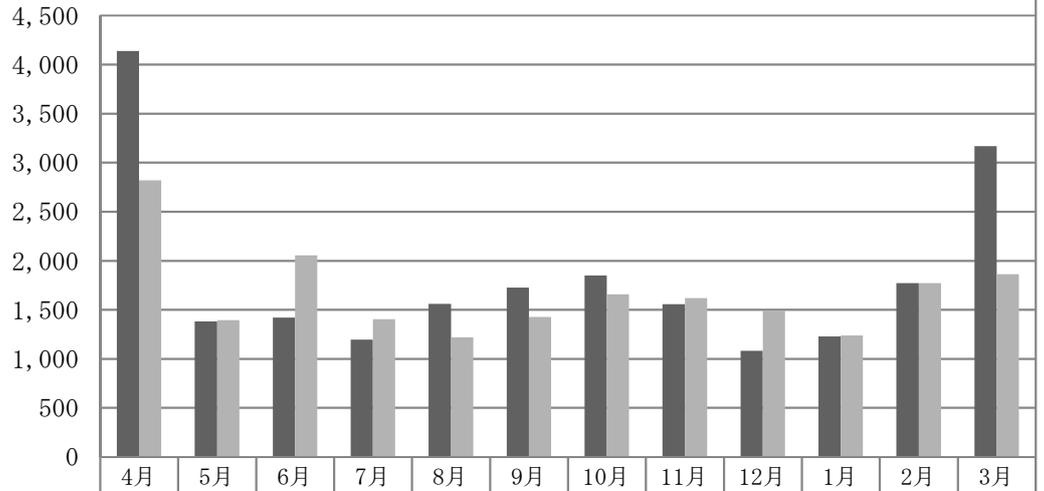
年 度 (平成)	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計									
30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3	35	32	3	35
29年度	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	20	3	23	20	4	24

(エ) 事業収入等状況

年 度 (平成)	入館者 (人)			事業収入等 (円)					事業参加者 (人)		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
30年度	22,066	7,033	29,099	0	192,600	716,700	17,200	926,500	255	11,661	11,916
29年度	19,943	12,446	32,389	0	140,100	935,900	25,270	1,101,270	181	14,808	14,989
増(－)減	2,123	-5,413	-3,290	0	52,500	-219,200	-8,070	-174,770	74	-3,147	-3,073

単位：人

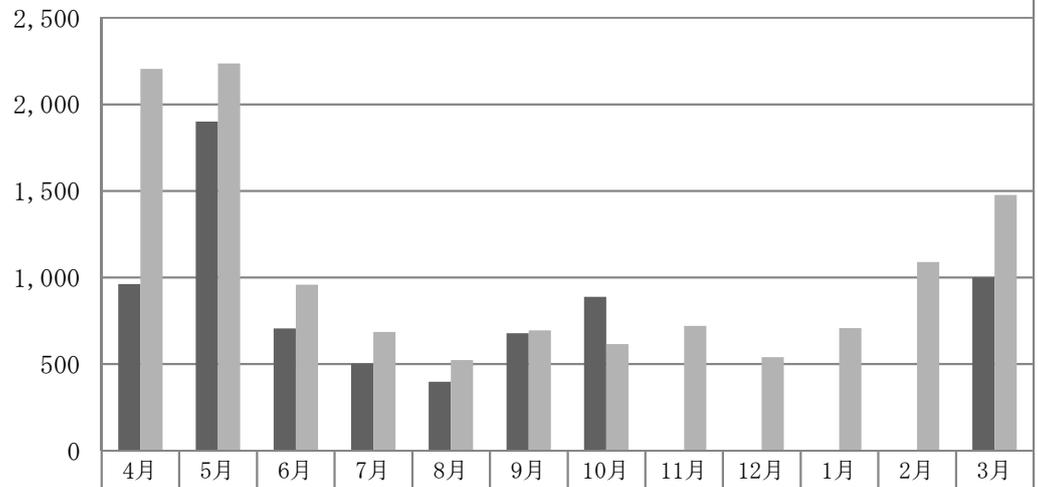
郷土文化館
入館者数



■平成30年度開館日335日	22,066人	4,138	1,380	1,418	1,194	1,559	1,726	1,849	1,555	1,080	1,228	1,771	3,168
■平成29年度開館日335日	19,943人	2,818	1,393	2,055	1,403	1,217	1,424	1,656	1,617	1,491	1,237	1,771	1,861

単位：人

古民家
入館者数



■平成30年度開館日200日	7,033人	961	1,901	706	503	398	677	887	0	0	0	0	1,000
■平成29年度開館日335日	12,446人	2,205	2,235	958	685	523	694	615	720	539	707	1,089	1,476

(3) 市民総合体育館の利用状況

(開館日数: 335 日)

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
平成30年度	26,826,290	8,456,415	35,282,705	2,261,750	6,136,250	176,200	8,574,200
平成29年度	26,826,470	7,935,790	34,762,260	2,008,520	4,930,350	245,800	7,184,670
増減	-180	520,625	520,445	253,230	1,205,900	-69,600	1,389,530

イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール		
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	合計
平成30年度	27,382	6,688	34,070	21,314	10,531	31,845
平成29年度	27,375	6,381	33,756	20,737	8,981	29,718
増減	7	307	314	577	1,550	2,127

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
平成30年度	34,203	17,652	529	52,384	82,899	34,871	529	118,299
平成29年度	34,376	16,470	684	51,530	82,488	31,832	684	115,004
増減	-173	1,182	-155	854	411	3,039	-155	3,295

ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
平成30年度	2,536	58,500	682	14,869	495	11,796	30
平成29年度	2,385	57,937	454	12,234	409	10,673	26
増減	151	563	228	2,635	86	1,123	4

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
平成30年度	3,743	85,165
平成29年度	3,735	83,369
増減	8	1,796

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
平成30年度	206,067
平成29年度	198,018
増(-)減	8,049

エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
	364件	2,603人

・駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
	24,949台	74.5台

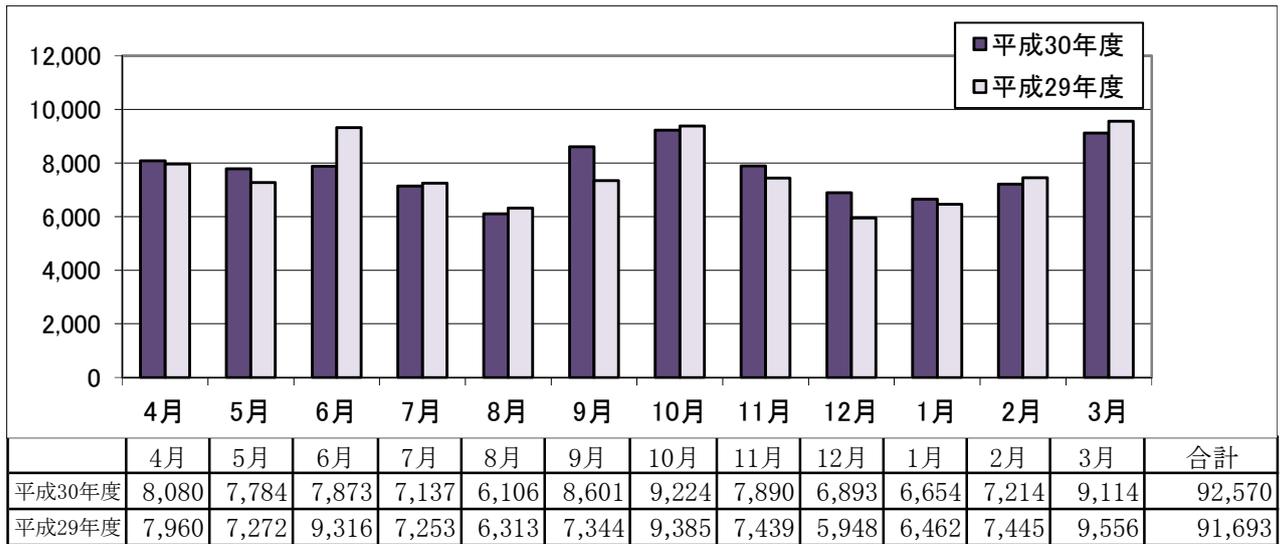
オ くにたち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 206 日)

	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス等	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
平成30年度	1,181,230	523,950	24,600	49,200	597,750	2,715	3,553	82	164	6,514
平成29年度	1,111,380	444,930	51,000	26,100	522,030	2,837	3,013	170	87	6,107
増減	69,850	79,020	-26,400		75,720	-122	540	-88	77	407

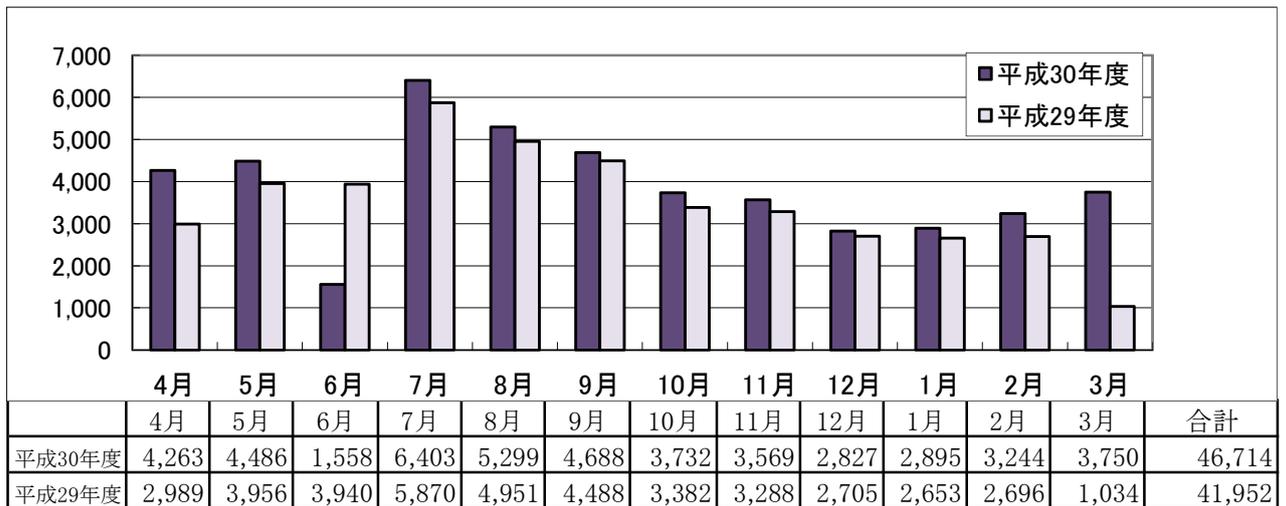
カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)



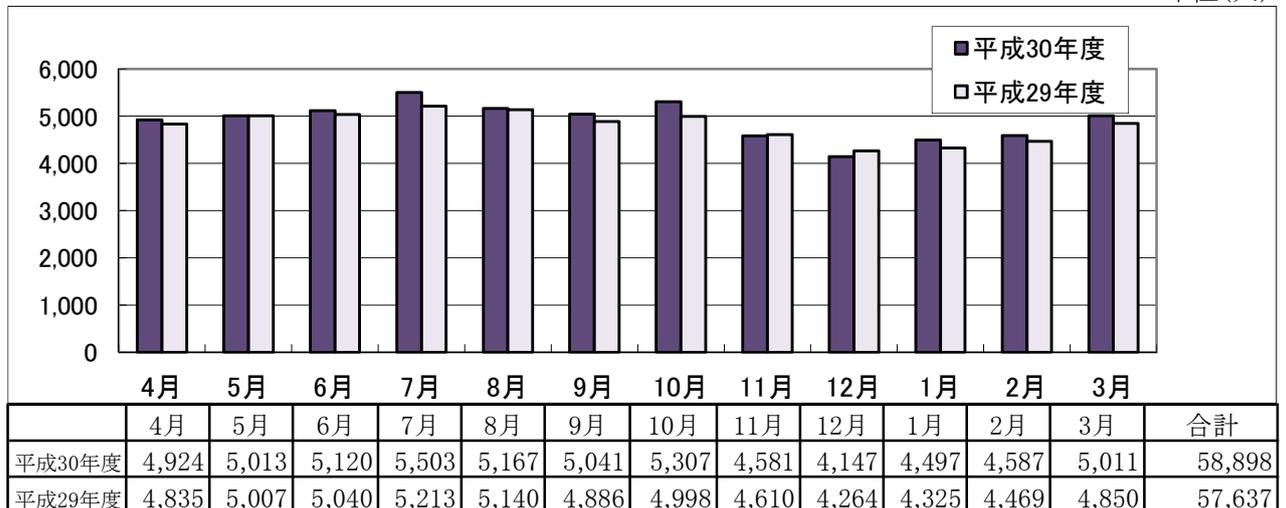
キ 室内プール月別利用状況

単位(人)



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
平成30年度	17,027,300	1,715,500	639,000	19,381,800
平成29年度	17,095,050	1,676,000	560,500	19,331,550

減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
平成30年度	623,700	4,256,000	839,000	5,718,700
平成29年度	822,600	4,410,500	837,000	6,070,100

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
平成30年度	8,767	8,107	10,525	27,399
平成29年度	9,023	8,149	10,767	27,939

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
平成30年度	94.54%	86.72%	73.99%	85.08%
平成29年度	81.27%	73.20%	62.76%	70.93%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
平成30年度	2,177	3,472	1,219	6,868	1,669	8,537
平成29年度	2,237	3,264	1,052	6,553	1,564	8,117

野球・サッカーの利用率

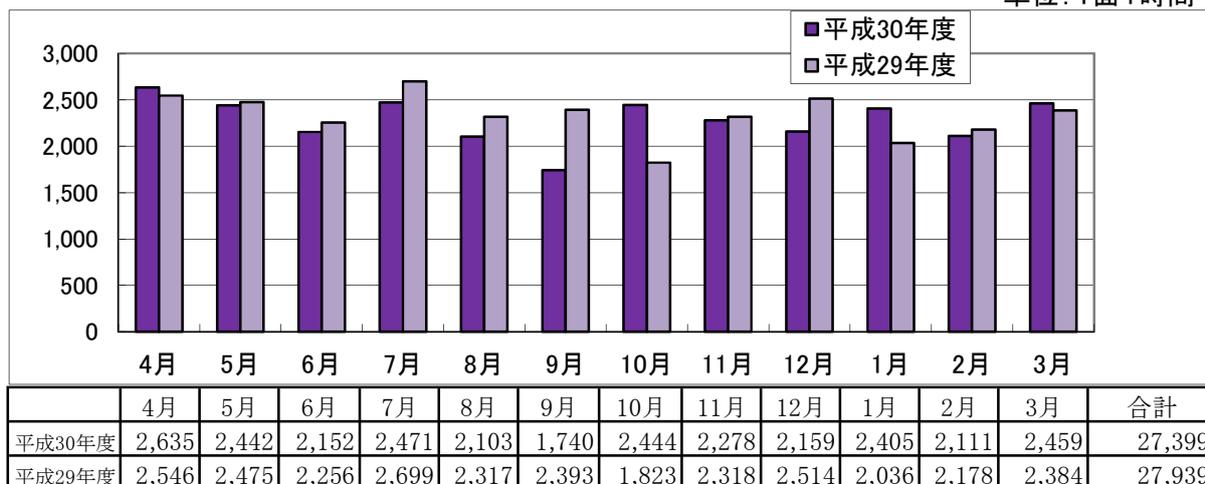
単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
平成30年度	67.71%	61.16%	53.09%	60.65%	51.86%	58.46%
平成29年度	60.28%	44.48%	35.79%	44.48%	42.14%	45.86%

※平成30年度から雨の日の時間数を利用率算出の分母から外したので利用率が上昇しました。

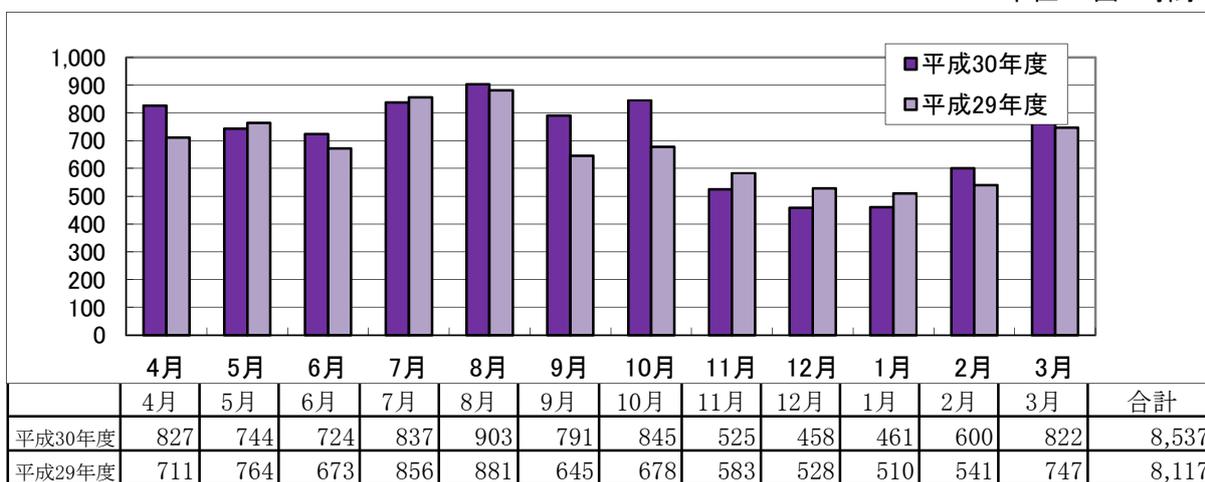
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位：1面1時間



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



3. 管 理

(1) 役員及び役員会等に関する事業

ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

(ア) 理事

(2019年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
理 事 長	竹内光博	平成29年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高橋一成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理 事	浅見美弥子	〃	非常勤	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学長
〃	池田良二	〃	〃	武蔵野美術大学名誉教授
〃	小澤孝造	〃	〃	国立の自然と文化を守る会 名誉会長
〃	武田忠善	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	峰岸秀征	〃	〃	国立市体育協会会長
〃	宮崎宏一	〃	〃	国立市教育委員会教育次長

(イ) 監事

(2019年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村淳二	平成27年5月29日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤収一	〃	〃	会社社長

(ウ)評議員

(2019年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	尾崎良一	平成27年5月29日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市体育協会理事長
〃	笠間信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会
〃	佐伯安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂上康博	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野啓子	〃	〃	桐朋芸術短期大学講師 バレエスタジオ主宰
〃	宍戸 彰	〃	〃	くにたち市民オーケストラ
〃	山井佳代子	〃	〃	会社社長
〃	綿引康司	〃	〃	たましん地域文化財団理事
〃	和田 哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員

イ. 理事会等の開催

(ア)理事会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
平成30年5月16日	第1号議案 定時評議員会の招集(案) 第2号議案 平成29年度事業報告(案) 第3号議案 平成29年度決算(案) 第4号議案 理事候補者(案)	可決 可決 可決 可決
平成30年10月24日	第5号議案 臨時評議員会の招集(案) 第6号議案 危機管理規程の制定(案)	可決 可決
平成31年2月18日	第7号議案 臨時評議員会の招集(案) 第8号議案 2019年度事業計画書(案) 第9号議案 2019年度収支予算書(案)と資金調達及び 設備投資の見込みを掲載した書類(案)	可決 可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
平成30年10月24日	協議事項① 2019年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
平成30年5月16日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
平成30年10月24日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
平成31年2月18日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況	

(イ) 評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
平成30年5月31日	第1号議案 平成29年度決算 第2号議案 理事の選任	可決 可決
平成31年2月26日	第3号議案 2019年度事業計画書 第4号議案 2019年度収支予算書と資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
平成30年10月31日	協議事項① 2019年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
平成30年5月31日	報告事項① 平成29年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項③ 寄付金等特定資産の運用の状況について	
平成30年10月31日	報告事項① 危機管理規程の制定について 報告事項② 臨時職員取扱要綱の一部改正について	

※その他の報告事項は含みません。

(ウ)監査

開催年月日	監査事項
平成30年5月9日 決算監査	平成29年度決算書 平成29年度事業報告書
平成30年11月9日 中間監査	平成30年度収支決算書(上半期分) 平成30年度事業報告書(上半期分)